

3Q

産（さん）業社会と人間→総合的な探究（きゅう）の時間

3つの Q：世界で何が起きているのだろう

Q Question Q：自分の身の回りで何が起きているのだろう

Q：自分にできることは何だろう

総合学科推進部

令和4年4月15日 NO.1



【はじめに】

1年生の皆さん、入学おめでとうございます。入学してから約1週間が経ち、様々な授業が始まりました。今はクラス単位でほとんどの授業を受けていますが、2、3年生になると自分で受ける授業を選択（科目選択）するようになります。「自分だけの時間割をつくること」、これが総合学科の特徴・魅力でもあります。ではどのようにして自分で時間割をつくっていくのでしょうか。それは、「自分の将来（進路・生き方）」から逆算して考えていくのです。

たとえば医療福祉系の進路を希望するのなら、それに沿った授業を選択していくことになります。

つまり総合学科の生徒というのは、普通科などの高校生と比べて、「より早く将来のことを具体的にイメージし、大人になるという意識」をもつことが求められます。この三年間で様々なものに触れ、自分の未来を自分で切り開いていけるようになります。

2、3年生の皆さんは、昨年自分でつくった時間割に従って授業を受けていますね。高校卒業はゴールではなく、人生における通過点の一つに過ぎません。授業は授業、進路は進路と断絶して考えるのではなく、日々の学校生活と将来の姿を結び付け、今できることをしっかりと確実に行ってください。



【総合学科通信について】

今年度から総合学科通信をリニューアルしました。タイトルの「3Q」は、「産（さん）業社会と人間（産社）と「総合的な探究（きゅう）の時間」（総探）の授業名の一部から取ったものです。この二つの授業のつながりを意識し、さらにこれらの授業を通して自分の将来の姿まで考えてください。

また、産社と総探では、みなさんに三つの問い（Question）に向き合ってほしいと考えています。それは、「今世界で何が起きているのか」

「自分の身の回りや社会（進みたい進路）では何が起きているのか」「自分に出来ることは何だろうか」というものです。つまり、世界という大きな枠組みと、自分の進路や周囲のものと、今の自分を関連付けて考えてほしいということです。タイトルの「3Q」には、この三つの問いを意識してほしいという思いも込められています。

そして、この問いに向き合うためのキーワードとして、産社・総探では「SDGs」というものを扱っていきます。「SDGs」については、「産社」と「総探」のガイダンス等で触れていきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【ボランティアについて】

ボランティアは、社会に貢献すると同時に、普段なかなかできない体験をすることで視野が広がり、自分の成長にもつながります。コロナ禍で参加することが難しいこともありますが、年間を通して一度は参加をしてみてください。ここでは昨年度～春休みに行ったものを紹介します。

～プルタブの分別～

美里町の社会福祉協議会は、町内の各所にボックスを設置してプルタブを回収しています。回収されたプルタブは、換金できるものとできないものに分別する必要がありますが、昨年1月に本校の稲章会館で分別作業のボランティアが行いました。33kgのプルタブ（1,996円分）を分別し、そのお金は町内の小学校の新入生に配られる防犯ブザーの購入費に充てられました。



本校自販機付近にも回収ボックスが設置してあります

～美里町おたすけボランティア～

3月16日に発生した地震で、美里町も多くの被害を受けました。特に一人暮らしのお年寄りのお家では、復旧のために人手が必要な状況でした。そこで本校生徒3名が、美里町で災害復旧ボランティアの一環として行われた「美里町おたすけボランティア」に参加しました。80代の一人暮らしの女性宅を訪問し、倉庫内の片付け、処分家財の搬出、仕分け、積み込み等を行いました。

